

教科目名 社会システム (Infrastructure System)

学科名・学年 : 制御情報工学科 5年 (教育プログラム 第2学年 科目)

単位数など : 選択 1単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
<p>本科目は、JABEE が要請する「社会技術」の知識を獲得するために開講する科目である。21世紀に入り、日本の経済、産業構造は大きな変革を求められている。また、少子高齢化と雇用形態の変化は我々の社会システムを大きく変えつつある。これらの大きな流れは、わが国の政治・経済や都市・地域のさまざまな側面にも大きな影響を与えている。そこで、本講義では、このような状況にある都市・地域における新しい動きや生じている問題を正しく認識し、これからの都市・地域政策や、あるべき都市・地域の姿を検討するための基礎的知識を学習する。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E2), JABEE 目標 (d1 ) (d2a) (g)	
<p>(1) わが国の経済社会で起きている事象・問題を正しく現状認識ができる。(定期試験)                  (2) 地域経済学の初歩が理解できる。(定期試験)                  (3) 都市や地域で起きている問題に関して、事例を調べて小論文にすることができる。(レポート)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1.概説	わが国経済社会の現状を学ぶ。 日本と世界の都市について理解を深める。 グローバル化、少子高齢社会、IT社会、日本人の意識構造について理解する。	【理解の度合い】
2	2.地域の経済学	EU, NAFTA, APEC, NIEs, OECD 等、広域経済圏の過去と現状について理解する。	
3	(1)時代の潮流	コンビニ、WTO、まちづくり三法について、事例とともに学ぶ。	
4	(2)地域主義とグローバリズム		
5	(3)経済のグローバル化と地域インパクト		
6	3.産業構造	中心市街地問題について理解する。	
7	(1)中心市街地の空洞・衰退化	雇用構造の変化、派遣労働、ニート、フリーターについて理解する。 駐車容量の計算方法を理解する。	
8	後期中間試験		【理解の度合い】
9	試験問題の解説	分からなかったところを理解する。	
9, 10	4.政府の役割	政府の役割を経済学の歴史から学ぶ。	
11	(1)市場の失敗・外部不経済	市場の失敗や外部不経済を理解する。	
12	(2)PFI	PFI の歴史としくみを学ぶ。	
13	5.環境と経済	CSR の考え方を事例とともに学ぶ。	
14	(1)企業の社会的責任	企業の環境保全活動の背景と現状について学ぶ。	
14	(2)環境保全活動		
14	6.交通まちづくり	交通社会実験と交通需要マネジメントの背景と現状について理解する。	
14	(1)交通社会実験と TDM		
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	レポートを小論文形式で課すので、受講者は日頃から新聞等を読んで時事問題に興味を持つようしておくこと。		【総合達成度】
教科書	岡田・川瀬・鈴木・富樫著『国際化時代の地域経済学 改訂版』, 有斐閣アルマ		
参考図書			
関連科目	電気電子回路, プロジェクト実験 (専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について定期試験とレポートで評価する。 総合評価 = 0.7 × (2回の定期試験の平均) + 0.3 × (レポート) 総合評価が 60 点以上を合格とする。		